

## 滋賀県地震防災プランの改定について

### 1. プラン改定の趣旨

滋賀県地震防災プランは、平成30年度から令和2年度までの3箇年を計画期間としており、計画期間を前に、事業の進捗状況の確認を行った。その結果、事業の大半は目標達成に向けて順調に進捗し、一定の成果が認められた。しかし、継続して取り組む必要がある課題もあった。

一方、これまでは地震対策を中心に取り組んできたが、近年台風等に伴う大規模な風水害、土砂災害が頻発化・激甚化しており、他の自然災害への対策も必要となってきた。

こうした中、感染症禍における複合災害への対応も求められ、発生確率が非常に高い南海トラフ巨大地震や直下型地震の発生も懸念される。

これらのことを総合的に勘案し、現行プランの取組を継承するとともに、新たな課題にも取り組むこととし、次期プランから名称を「滋賀県防災プラン」と改定する。

### 2. プランの位置づけ

現行プランと同様に「滋賀県地域防災計画」に基づき実施する防災対策のうち、重点的に取り組むアクションプランとする。なお、現行プランの防災対策の取組を継承するとともに、近年発生した大規模災害を教訓とした重点的に取り組む防災対策について、その基本的な考え方やスケジュールを定める。

このプランは大規模地震対策をはじめ災害対策全般を対象とする。

### 3. 計画期間

令和3年度から5年度までの3箇年

### 4. 今後の予定

令和3年2月 常任委員会（プラン改定骨子案、現行プランの取組状況の説明）

令和3年3月 常任委員会（プラン改定最終案の説明）

### 5. 現行プランの取組状況

- プランは、7つの「実行」に分類され、29の「個別事項」、115の「項目」から構成されており、総括的な評価を行うことで達成状況の確認を行った。
- 計画期間3箇年の中間年度である令和元年度と、計画最終年度である令和2年度末見込みについて、7つの「実行」毎に達成状況の確認を行った。
- その評価結果は以下のとおりで、県の防災対策については概ね計画どおり進んでいる。

取組状況調査 ※1	令和元年度末	令和2年度末見込み
取組を概ね達成できた ※2	90/115 (78.3%)	95/115 (82.6%)
取組を達成できなかった	25/115 (21.7%)	20/115 (17.4%)

※1 「滋賀県地震防災プラン取組状況」を参照

※2 概ね達成できたとは80%以上達成できたことを指す

### 6. 添付資料

(仮称) 滋賀県防災プラン(骨子案)  
現行プランと改定後のプランの比較  
滋賀県地震防災プラン取組状況